探荷集 三編 全

天明丙午　雪華堂太郎

探花の集こゝ編　小麻呂

六印

行のこゝろや松蔭なる　百羅

さゝ傳しあまの家代鳴　浪花　舊國

花ゝ月　桂樹の秋八三ヶ月　得魚

旭瀧より小野へ入る滝の音　上廿飯野　雀汀

探幽法眼の絵

すさのやの滝こと葉ふるとしの雪　不蹇子

苔むす岩おとの中なる清水哉　桜花女

初雪ののこりまばらの山路哉　筑前　愚来

色井より出る水の清さ　浪花

人おとなしきもの哉　蓼洲

春の雨八幡の社の井　上廿町田　淡耳

えりやの一天八幡の川　沙器

世の中八国栖と称する花の名　之終

なるほどや又紫井八人ゝ　栖蛙

そゝ〻ぎの神ハ竜田やそ〻ぎ　沢象

陸奥八二ヶ所ありれ初硯　故流

色井や器よりこぼるゝ水　白康

むめ咲月夜の雪ふる東小　雪壁

梅柳ちくこ[illegible]の風　上井松堂　吏機

[illegible]や[illegible]　小田原　晩長

[illegible]　[illegible]

[illegible]や[illegible]の梅[illegible]　[illegible]

[illegible]の[illegible]　[illegible]　二月　[illegible]平[illegible]　素[illegible]

七種や[illegible]　後府　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]　後保[illegible]　桃[illegible]

若葉つみ[illegible]　不寒

[illegible]　仝

[illegible]　[illegible]　[illegible]　越流

梅の花[illegible]の[illegible]　[illegible]　既明

[illegible]の小松原　後府　[illegible]

[illegible]　仝　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　上井[illegible]　[illegible]

我よ寄て香を探る梅の林かな　白麻

漁の海士人や朧の月　下サ網戸　三蝶

、

春の日いと似つ人のいぬかな　甲州吉　蓼主

たそかれ雨よ衣掛成の心に濡る　花暁

菱入や海の父に似て母に似す　之緑

藪添ふと古江の梅添かり　完来

春とむく香しきや梅やつき　四瓢

、

京中に未の木も橘や松の花　不寒子

夕顔や待乳の山影けさ見え　おなしく

ゐまはりに名や忘れん猫の妻　普成

はるの風軽尻ふるひめの盆　嵐亭

青柳や白きもとまる千温飩　女　染女

春の夕の眼鏡に鐵の美照女　一貫

喰ふとる雲の志す日かな猫の恋　完来

むのゝ花ゝ野ゝ桜ゝ　梅小　嵐亭

、

春雨や法ゝ師人の梁元一枝　錦城子

数人の敷もの春雨　仝

春雨や仏ゝ様ゝ心の花　武府中　維谷

すゝ柳ゝ秋の恨ゝ　上井イヽ　露白

夏柳ゝいもすゝ柳ゝ　さを　巳人

夏景色の柳ゝ　左庵

ゆふ入や故郷の川の傘　駿府　一雅

牛車ゝ花ゝ遠ゝ遠ゝ　仝　松宇

うすゝ雪ゝ落せる鶯の敷ゝ

、

春三月糸ゝ色の柳ゝ　長徐子

切ゝ山ゝ桜ゝ山ゝ　不寒子

うゝ柳ゝ色ゝ　いゝ　馬平

山ゝ桜ゝ　すゝ

、

春入海おとこ鯨ゝ　不寒子

大るの月や木の葉ちる屋　仙衣

ぶら花の滝ゝ千ゝ山ゝの水　後藤田　菊二

空に漏るゝ星のひかりの水　全田中　峰月

雪のゝ平安城をめぐりて　遠カ竹川　知東

さわふや、ゝ山ゝもとゝの　全森　蓼之

雨ゝしゝ月ゝ出ゝとゝ半ゝ　雅丈

当ちるゝ〻ゝ多き松の葉ゝ　半列沈舟　大吟

まゝのゝゝとゝすゝゝゝ枯蔦　之鯨

、

初午や稲のゝ根ゝ樂　不寒子

ゝゝゝゝゝ神の十字街　柳蟹子

傘ゝゝゝゝゝ花の旅　房列　清石

四ゝ時ゝ人ゝ今ゝ日ゝ　一田示　山花

知ゝゝゝゝ　海晩

出るうめもきの花を松の雪　青橋
細くちのやぬ入連く戻りく　方童

山河有道灌花の春農叶　完来
後のくるぶるまの野く橋稲　竹苞
二番ゑ思ひ子人雨の雅　百鏡
湖ゑ浮巣ゑあり　完来
蛙ゑ鳴ゑ風ゑ吹く　藤仁

蒲代や二番ゑ人の七つ笠　志頃
雨の雅ゑゆるうゑ浮巣　仝
飛ゑるやもくふゑ　上井今宮　竜花
帰ゑるゑ　仝　吏楓
伝授ゑ稲穂ゑ来る蒲　雨都
乗ゑゑ鉦ゑ　芬露

[illegible]　蘆山

門の蝶形くゝ[illegible]　信州にて　花足

かめや橋よつとる人人　七人　祇風

[illegible]　初橋　かのを

[illegible]　文成

[illegible]　雪堂

、

[illegible]　秋梓

[illegible]　徐綱

[illegible]　秋梓

[illegible]　文宵

[illegible]　小田原　巳蹊

[illegible]　後藤村　東巳

、

[illegible]　徐塘子

[illegible]　ミなホフク　汐鶴

[illegible]　汐羅

夜間や見ハ橋よりなる嵐　仝
[illegible]のとき[illegible]ぬくいける蓑原　上ヶ　竜花
[illegible]ゆるまて人ハ[illegible]ものを[illegible]　仝　帰風
お傘よりの庭前橋うる　一貴
[illegible]鮎や花うのけ[illegible]　仝　我吏

、
浦柱や数[illegible]橋人　蘭女
花[illegible]夜橋[illegible]橋　若江

御堂[illegible]橋乃[illegible]出費子　可園
[illegible]や也閑き地[illegible]の下橋　後保稱浄　川柳
[illegible]　仝シテタ　以篤
[illegible]　巳文
[illegible]　後府　居逸
[illegible]　[illegible]
[illegible]　後セン　志鴻

、

[illegible] 海隣子
[illegible] 竹舟
[illegible] 房州大川 走舟

夏の部

更衣持統のもとより製給ふ　庄席
[illegible] 尾張名古屋 意朝

更衣仏[illegible]　上井木文ほ 紀笑
[illegible] 白童　射年
九鼎の[illegible]　卯毛
拾[illegible]　留水政 紀翠
[illegible]　小井羽根川 正毋

[illegible]　善成
[illegible]　竹道

厨や牡丹のもとの古り泥　得意
真昼ごろ花ふり敷く花菖蒲　栖城
保ゝまに必ずの雪入る雨戸　物城
車前の一筋道や郭公　可国
ぶらぶらと蝶の眠るあるひ　四明

、

しゐるのゝ蝉鳴く時雨　夜枝　東巳
風ごゝろ三震ひつゝ牡丹　海晩

佛ゝも華あつらへや花菖蒲　上井関田　五柏
下ものゝ夏ぶくもる牡丹　仝町田　佐耳
しゃかの冷ゝとなるもの　夜枝　夜雪
鶏ぶく鹿の子初茶子　卅二
日のもとの橋ゝ夏ゝ初鶯　竹意

、

牡丹や七尊八十五羅漢　平寒子
夏流ゝ蛙よ怒ゝ　宜雲

白とつの夏草の年ふる人　宗長
青麦や鶯よりの高き　々
夏草や兵どもが夢の跡　栖隠
すゝ清し　眉丈
むすび結ぶ清水の流れ　百丈
夏深しむかし男の住まひ　呑竜
涼しさ市とかさなる初鰹　秋杵
うゝしさよ風に美人や　射集

上二廿

淋しさ蛇遣ひ　蘭女
秋松の沖に螺鈿の光の岩　素九
江戸見ゆる一筋道や初鰹　茶荒　宗長
亡人迄念仏ひつぱる　起翠
笋や新茶ある塩ひる　竹芭
夢やすき秋の暮　行民　花足
九つの祝ひの鶏の鳴く　尾民　意専

、

[illegible]帆とくるる有雨　スンフ　尤更

[illegible]　得意

疲るるの[illegible]　竹笹

労れ移の扇を[illegible]　[illegible]

[illegible]雨や時[illegible]の梢の音　東奴

懐ひ[illegible]　スンフ　桃子

[illegible]　原氏　[illegible]

、

白鷺[illegible]　不響子

[illegible]堂浮[illegible]　宮東

[illegible]　フンコ　雪壺

[illegible]　小四郎　木奴

[illegible]　山花

[illegible]　雪[illegible]

[illegible]雨　高成

[illegible] 秋月
[illegible] 巻也

、

[illegible] 秋月
[illegible] 月巻
[illegible] 白
[illegible] 秋巻

、

[illegible] 錦城子
[illegible] 秋月
[illegible] 来九
[illegible] 猿三ヶ 橋井
[illegible] 秋梓
[illegible] 伊田 播要
[illegible] 蔵刑 仙京
[illegible] 東白川 [illegible]

、

年塚よ年ゆきん月雨　魯海
ゆくゆくやまとゆくふるさと三清　雪渊
ゆくもゆくゆくもゆくきの葉村樹　スシフ　左更
清きなるふるさと年の貝　仝　竜六
雲千や清の下よ一雨也　蓼眠
一すのあもしとめ清水　金童改　立舟
故やつぬ雲の中ゆ苦ふ　女　堂路

、

月の紙よりん月とする夏月　竹の子
消ゆる雪のまゝおや古用干　一要
白雨や深よ立るゆ雲　君魚
蛇ゆて人谷ゆ谷の西相ゆ　左廣
うゆ針のゆ紅ひつゝ晒ゆ　小田原　竹蘭
むゝ子や兒のつゝる般若梅　仝
百都や沙ゆよ花の十雲　仝　暁長

昼顔や花のとぢすと同波　妙薫
しほやや女はさうの男めき　春竜
垂すかけ蓑むしも又悪し　似雲
後井やりとの蓑と和布の芽　ヲヒコ　朱ぬ
ほとり井や星八青海の音魂　朱舎

夕くれや少人の中よ牛蛙　フンコ　巳人
はつさみ御神の出石清水ふり　仝　馬年

花ちるのさもも似合ふ揺麻　蘭芳
夕霧や蕎麦ふるあさくらの木　雪望
ほとり井や茶の花の郷平　阿民　文成
抱蓑や近よる秋と人の如　雪洲

六月や猫も保せる西陵　鼓雪
ふり相沼小町の芸東屋ふり　秋林
夜八時のやうと四夏のきく　武庫中　雪堂

六月の末の日やゆうの花　一蝶　猿田中

ほたるやかとの中みる桜　麟角　房良に条

ゆふ〳〵入乃恋くさとり　弘意

、

さのくまてゝ清の蝶の力云　活梅　猿岸

すゝきまつるの僧と松くるる　已丈

夏の日や汐清流く大流く　太也　竜ケ井キ

ふとりもまる恋の恵の高野　一鶯

庵の春ゝ人〳〵生〳〵夏秋　貴卒

ちくゝ水とゆの野くる野小　指井　ミニタ

上直の頭を先人等の梅る　故流

稚の〳〵秋

秋風や燈立雪の八幡羽　一鶯

風や吹くるや清ひりの秋　我文　上井六条寺

秋兵衛佛りまの森笠小　宝来

菊よ白青の花咲きこゝろ　冠翠
咲紅やいとゝ止めるる人の色　卯色
七夕や女郎の手はまた人　下井　貴義
さつきやこゝろ三ヶ月も桐一葉　武府中　有蔓
ものゝ深き魂祭　玄都
稲妻をこゝろ人よりもし女ぶ　加月
人人よりもせく芋はいもを洗ふ　月吉
聞き男れ稲もめ〻雲雲　阿州　文風

菊や水の底ふかう月　月吉
みのむしの母と迷ひ人ぶまり　海吹
ちらまきもまもしおすむ迷ふ　藤信
金銀の氣を遊蘭の袋ぶ　加月
くらべよ元服ぶ角力元　尺魔
菜ぶれ総と仇あり秋の風　時花

ゆ蛍よ松虫声人まの〻ぶ　星云

陸奥そなたの三勢山の秋　青橋

憂愁と打ちみるもあり秋の雨（上井川名）　谷戸

こつぶいみる滝乃葉山ふる　紀翠

、

紅葉や雲のかなたの安達太羅（アダタラ）　達琴

掘りかゝるの鍬ふる入る　木羽

りあるとなれ人とり絵の帳　立舟

ひいんあらんあつて滝のうら　仝

難雲ふる朝貫世もすゑ月　上サ　沒耳

、

名月やふ二万ふる丹図西　故流

入つくるのふ人今夜　下サ　三蝶

みやの原ふ潜しもの番椒　女　まつみ

水ふ雲ふる雲ふあむ月　阿州　文風

ふの毋波の流をあ人今月　上サ　竜花

東橋向ふ月ふ　仝　沒耳

明月や山の端より稲の穂　小麻
後雪又後雪とかるる月哉　馬翁

、

名月はとしの数なる智の波　三鈴
胡の流のくれ行のつき　中和
八月の朝のまゆ月の光　吟鳥
ゆくとや今年さる役去　巣鶯
後はなほ残るあの月の月　後田中　鶴月

疫病やゆくまれる兵庫　武府中　雪堂
はつ汐や月惜よ入この水　五柳
秋さき雲といつまでもくれ　ふ二相方　紀葉
たらるや武蔵の御代の物語　ゆの屋

、

正汐のあ月に秋風の　後府　桔家
冬ぞまつ市せもこの雪と今年小　小田原　有蹄
春の月たとへる事の歌の　慶之

三菊の志ろきはなる秋の海　房列　梅舎

今ちるを恨むもあるんきくの色　光鳥

喜と入しとり菓子の手うれ　方壺

、

龍の上ちるらめ〳〵雲の尾　猿蓑校　弄瓢

のきこの雨やあるの〇ふる人　浪花　風竹

月〳〵山の雲の雪ふつ水　菅菜

行膳よ祝やつ〳〵の〇色　雪堂

喜ふつ心ひ人古きうの紅葉の色　白麻

迂文の日ひよりあつて秋の雨　小田原　如雲

二ひと八八ちの滝ち石月　志ど列　英之

滝〳〵横ハつ〳〵の滝うの　冠羅

鬼よ志ろ〳〵も鬼の夜と成ぬ　一雲

、

志ろ〳〵や滝ぬ雲ハ帷子の色小袖　奥白川　林支

ぬ〳〵ふ〳〵ぬ雲の小菊あはつの　蕉信

ふる雪や山茶の枝に咲ひろう　市文
しら拍子よりあやまりて詠ぬ　故郷
明るしや孤堤遥かに見る　長月　太船

、

新蕎麦や赤く真後を君来る　雨翁
ぬ三の辻夜海くらあすれ　白扇
秋雨ふるたちあるる鶏ふ　敬雅
康時や眞文のはしひ面　房外　長月

節竹をひくのゆ春の夏　庖玄
今もしと菊一輪のゆるふ　小田原　如蕉
花棚むしうり男やちの秋　武府中　君魚
就るふるゆのもるつ紅葉ふ　風節

、

挽人やふれ小提灯　上廿　射峯
拍子ふるあるる蛙の平一　全ヨコメ　立柏
搗き八幡ちきぬ世のまぬふ　フンユ　巳人

[illegible]人[illegible]ぬ[illegible]
[illegible]人の[illegible]実より戻る[illegible]
[illegible]須[illegible]
道よりも豊の[illegible]
[illegible]を過ぎ鎌[illegible]村や暮の秋

竜[illegible]のキ　大如
已丈
雨静
青橋
左樵

冬の部

傘[illegible]

房州　文甫

[illegible]

尾州　意匠
武蔵中　柳如
久川　四明
房州　湯石
小田原　素堂

[illegible]

[illegible]の月　月堂
房州　豊川

散てこそいとゝ花の
盛なれ　今　志文

連のぐもゝ先に消ぬる　紀列　俤石紀

しゝ世を書ゝ[illegible]の[illegible]　武府中　打木

なのれゝよまゝ[illegible]　俤氏

こゝ輪くもゝ[illegible]　尺摩

灯ゝも色入あり　一驚

ひゝまゝ尾越の鶯や　後夜の詩　萬府子

世を[illegible]ふ梅や緑ゝ細代　駿三ヒト　沾吏

[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ　を列　蕉主

むつまゝ[illegible]ゝ　得奥

小[illegible]風塵の米番を[illegible]　舎十

いゝ[illegible]ゝ懸ゝ[illegible]の[illegible]　[illegible]次奥

ゝ

[illegible]ぬ人も[illegible]の頭中ゝ　一驚

八ふゝ和光の月入十夜ゝ　信列松代　[illegible]

仏壇よりたうろう燈籠　白麻
さゝ〇燈籠　全
淋しかる迷ふる桔梗　全
麦藁やまさゝ　信列松代　松成
世の中人々　全　花足
世の中人々　スンフ　桔梗
世の中人々　上サメ谷　江魚
郡中ちつ清よむうゝ安　五舟

冬の海成ふる流の花泉　フシミ　馬耳
年毎人月ハうの江戸撫　全　巳人
大勝ハ嘘ふ　全
指の火ふ　房列　買風
於ふ　一
夜神や般若　宗芳
ハ沒ふ　房列平後　東野
ふ〇〇　一

嶋ゝみて命をつるもしぬ冬籠　陸奥哉　東巴

長夏無常大根とひいて戻り花　仝　路史

枯〳〵る月の〇あ〳〵ものの跡寒く　東里

夕のゝよ火打信や寒の庵　秋梓

、

風〳〵ゝよりよりて寒や海　房州　文南

寒菊〳〵蕨をかくす月　紀翠

牛僧やいのれ〳〵咲法華　志摩京川　紀摩

風やゝ尾ひゝゝ京花　羽石

花とつゝる人ゝむ枇杷の赤　之路

枯尾芒樊〳〵花火乃野寒　京花

落ふやひゝ〳〵蒲〳〵ゝ蒲の穂　一鶯

朋友有信

顧汁や粒〳〵まゝ〳〵片おろ　仝

うゝの赤一ゝ〳〵ゝ光やせし　起翠

ゝゝ〳〵ゝとゝ〳〵ゝ冬月　一鶯

服そもしろ法月や夜長哉　嘯石

、

夜長し親ハ祖代より別れ　柳絮子

寒雁や四ツの養子の暮　鄙岱

襟ぶくろ冬月　沙瓦

鮫の網浦市人のつる　小田原　眠石

沈中めの小鳥やふ伊勢　全

鳴つゝしの法華経　蔵枝　素兄

沈の服けやかふ武蔵鐙　主刃森　菊平

剃るこの法ハ花　全

ゐとつゝ雪ふる冬竜　蔵江　曾叟

ふるゝ又生ぬ枯まつの秋　嘯石

、

ふと行もゝ枯ふ　不蹇子

作麼中と枯ふ　白麻

明中の解脱あるふ中月　魔丈

歳の市あんのふしく吉すく　一ゆ
けつまつ〳〵迄つの子や相火桶　普洌
芝宮清水詣の書のたふさく　海辺
日の嵐ゑ〳〵菓食んみ　信州松代　松成
四十九の年あしふみ蔵やま　小田原　の花

、

竹の書やたく〳〵女の髪　竹堂
鏡宮舟やてゝ新まつ　立

就きの物乃々とゝもや拾ひ京　俳堂
岩竜や月ゝ元ゝの臺所　百丈

、

おゝの光の月あつ〳〵屋　披雲子
枕元ゝ雪の高ゝ山和尚　敬雅
中〳〵枯ぬ淋し冬の松　嘯石
やう〳〵道絶人ゝ拾路京　五舟
居眠り岩又稲もる火鉢ゝ　月舟

志ゝと思ふて出火消する　五舟
合むしん梅ふみとゝ京の紅梅　ゆの屋
煙ゝ寺や竹を伐日と十二月　ゆの屋
雪さゝゝよゝゝゝゝゝゝ雪の降ル　席列　也哉
人つゝの降るよ都ゝ冬の梅　信列社代　扶好
高ゝゝ仏小坐のぼるとめく亀　眉映
寒念仏まゝる石橋の孔の卵　武蔵中　蓑杉
酒盛乃味方よあゝて雪の猿　上廿　司九

球あまきのるゝ和ハ釈ゝ形ゝ亀　紀聖

、

青ゝと雲ゝ午の今月ゝつゝ　柳雲
国化ゝゝめゝ形や積る雪　ゝゝ川　去船
仏名や鬼ゝ孔の穴ゝあゝ　上廿　寂汀
寺あゝ形ゝ義ゝ泥却　白麻
ゝの酒加ゝ卯刻る今ゝ　嘯乙
雪ゝ半や横ゝ出ゝまゝむ　月梨

ふるの路やうくろひ兼ふる松雅　小田原　山花

、

ふるくしく空ハ道のう雪の不　不寒子
日枝くもく光ハ雪ゑ踏尾　嘯石
鳥のあくくとゆきの林なる　混一
誘ふて〳〵ハ雪ゑ流ふく茨川　軽舟
降雪や志〳〵ぬ火燃る海の上　蕪里
其〳〵上て妹とふ雛の卯酒　立舟

雑餐や入りもと探るかもの尺　月吉
ものゝ〳〵お膳はしの清法　山房

、

見ほとけまきの人雪の下ふ葉　後四年　成月
中ものゝふる葉ゑ対ふ毅使　紀蘇
和のゝ色ふ水ふ法ふ帰り水重　普求
掉ひしや人の為ふと雪ふ舟　紅方　志鴻
月閑ほとハ名ものゝ夜の雪　仝　喜江

[illegible]の[illegible]の雪　十サ仁民　東爲

、

[illegible]や人をとふらふ雪の路　ふ蓼子

年内立春

立春を吹きまるぬる光かな　白蘇

[illegible]とふらふ磯と蒙根　雨静

二[illegible]ふるひとり[illegible]　月示

糸の時あらしきぬ砧　玉吟

[illegible]に添るよりの守やまぬ砧　武有中　李雄

大象と言の探[illegible]　洲雨

[illegible]年の不二や淤泥の水芙蓉　一吟

ゆもとり人[illegible]月[illegible]　城山

雜

泥も我と言まつる念仏哉　洲羅

歌仙

初月のまゆほそき事也　蓼太
雲の秋くれぬ豊の里く　化麻
門を出て大深井流れ川風ホ　〃
髪のとくとうつる髪結　太
市ふる東京ぬぬ服の赤き男　〃
野の色かくれぬ山ふもとの小　麻

うつる手小城の樽杉迄　太
笠ふ山むつ婚礼の誉　麻
傘ふ恨の孫ゆ子の　太
新茶に梅の撫く　麻
ホ気てむつの所八郎平　太
いのちを新ると嫌と迄る　麻
新たを子中六夜の祝の後と憂　太
栗むきためる雨のつ毛く　麻

[illegible]屋より[illegible]なる[illegible]山　太
行道[illegible]は[illegible]法のあるひ　庵
盗人の類[illegible]れ[illegible]　太
[illegible]なる凍[illegible]の[illegible]　〃
[illegible]月[illegible]　庵
砂の[illegible]の[illegible]雅[illegible]　太
日[illegible]は[illegible]と[illegible]の色　庵
[illegible]の[illegible]の[illegible]　太

[illegible]船[illegible]　庵
むら[illegible]白[illegible]　太
れつけ[illegible]　庵
十九日の[illegible]の[illegible]　太
[illegible]の[illegible]記　庵
伯[illegible]の一[illegible]開帳　太
[illegible]月の[illegible]　庵
[illegible]稲の[illegible]　太

石田文庫

極印の輪の出来る時の秋　庵

その赤い〳〵の実に成るなく　大

日本乃中〳〵西源寺人通　丶

極印掘り為る為銭苔　庵

銭葉の吞口ひて〳〵花の苔　大

明れて〳〵上下乃雲　庵

江花文庫